



## 平成 23 年度全建賞(河川部門)を受賞しました！ ～女川第 4 号砂防堰堤建設事業～



女川第 4 号砂防堰堤の外観

大暗渠



ケーブルクレーンによる施工の様子

荒川水系女川にて平成 4 年より施工を行い、約 19 年の長期を要して完成した女川第 4 号砂防堰堤について、全日本建設技術協会より平成 23 年度全建賞(河川部門)を受賞致しました。

全建賞とは社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」、「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和 28 年に創設された伝統ある賞です。

### 【女川第 4 号砂防堰堤建設事業の特徴】

#### ① 「大暗渠式の砂防堰堤」

女川第 4 号砂防堰堤は高さ 20m、長さ 55m の砂防堰堤で約 40 万 m<sup>3</sup> もの土砂を補足します。また、大暗渠を 1 門設けることで洪水時には土砂を補足し、通常時には河床の連続性が保たれるような自然環境に配慮した設計にしました。

#### ② 「ワークショップによる砂防堰堤のデザイン」

自然美が素晴らしい女川渓谷に砂防堰堤を計画するにあたり、ワークショップを実施し、自然環境や生態系に配慮したデザインを計画しました。

#### ③ 「現場条件の厳しい箇所での難工事」

堰堤工事は流量の多い狭窄部での仮締切設置など厳しい条件下で行われました。また、堰堤までの資材運搬道路の施工も急峻な地形と雪崩が発生しやすい地形条件のため、建設に長期を要する難工事でした。

#### ④ 「左岸法面の脆弱な流れ盤」

堰堤左岸側は巨大な急傾斜地(流れ盤)の脆弱な地質であり、工事中の安全を確保するために、技術提案を求め、ケーブルクレーンによる法面工の施工やコンクリート打設を行いました。



ワークショップの様子



ワークショップによるデザインパース



仮締切をしている様子